

# ガクポラ

学生ボランティアが地域課題を解決!

丹波篠山には、地域が抱える課題に取り組む大学生たちがいます。彼らはゼミやサークルの活動として、地域の協力のもとさまざまな活動をされています。このコーナーでは、そんな学生の皆さんを紹介しします。

問い合わせ 創造都市課 ☎552-5106

## 学生の声

### 体験会がきっかけに

2回生 岡田紗奈さん

高齢者の方の公共交通の利用率は低い傾向にあります。体験会を通して運転免許の返納後も楽しくおでかけできるようなきっかけづくりになればと思います。利用が増えることで、よりよい公共交通につながったらうれしいです。



## 大谷大学 地域モビリティプロジェクト



### これからも使っていきたい

乗車会体験者 細見榮津子さん

学生さんがゆっくりはっきり説明してくれて、無事に電話で予約することができました。今は自分で運転しますが、家族に頼ることもあります。自分で動ける間は自分で動きたいので、これからも使っていきたいです。



**地域モビリティプロジェクトの活動**  
活動するのは大谷大学社会学部コミュニケーションデザイン学科・野村ゼミ「地域モビリティプロジェクト」の学生。生活者に寄り添った持続可能な地域公共交通、移動手段の研究を行っています。  
主な活動としては、路線バスの乗車体験会や、11月から開始したAIオンデマンドバス「のり」とに関する乗車体験会です。  
乗車体験会では、学生が自作した「お出かけカード(目的地・時間などを記入するシート)」を使い、携帯の使い方も教えながら一緒にオンデマンドバスを予約しました。「現在地域の高齢者の公共交通の利用率は低いので、乗車会を通して、公共交通への不安をなくし、安心して利用できるような流れ」と岡田さんは話されました。

## 学生の声

### 地域あつての達成感

4回生 研究会代表

慌ただしくも、楽しみながら竹灯籠を制作する中で、地域の方々にはさまざまなお力添えをいただいています。それらがあってこそ竹灯籠に炎を灯し、冬夜の中で揺れる竹の灯りを見た時に達成感を感じます。



## 関西国際大学 歴史文化ツーリズム研究会



### 学び合う関係

SHUKUBA代表 佐々木幹夫さん

学生は地域に学びに来ています。私たちも学生から地域の良さを教えてもらっています。第三者の視点で魅力を発見してくれて、地域のことを見つめ直せます。お互い良い関係が築けているのではないかと思います。



**歴史文化ツーリズム研究会の活動**  
歴史文化ツーリズム研究会は、関西国際大学観光学科の研究室です。地域課題を新たな魅力にするため、地域の住民と一緒に地域活性化に取り組んでいます。  
主な活動は、放置竹林の活用、伝統的な祭りへの参加、SNSを活用した地域の魅力発信などです。  
今年7月に「水無月祭り(福住)」、8月に「波々伯部祭り(日置)」で山車の担ぎ手として参加し、地域と一緒に祭りを盛り上げました。  
また、2月8日(土)には「福住雪花火」で放置竹林を活用した竹灯籠を予定しています。福住地区で竹灯籠を実施するのは今回で5回目。学生は、冬の冷たく澄んだ空気の中に、暖かい炎の灯りで夜を彩る竹あかりを制作します。ぜひ、お越しください」と話されました。

開催記録 篠山重要伝統的建造物群保存地区選定20周年記念式典

# 篠山城下の町並みを未来につなぐ ～20年のあゆみとこれから～

11月30日に丹波篠山市民センターで開催された篠山重要伝統的建造物群保存地区選定20周年記念式典。

この式典は、令和6年12月に城下町篠山の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建地区)に選定されて20年を迎えるにあたり、これまでの活動を振り返りながら、今後の町並み保存継承にどのように取り組んでいけばよいかを市民の皆さんと一緒に考えることを目的に、長年、地区内で活動を続けてこられた篠山まちなみ保存会の皆さんとともに開催しました。

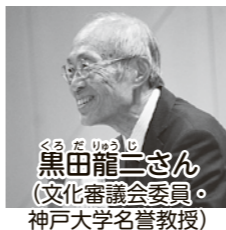
これからもオンリーワンの篠山城下町の伝統的な町並みを地域の皆さんと一緒に守り、つないでいきたいと思えます。市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。 問い合わせ 社会教育・文化財課 ☎552-5792

## 基調講演 「重要伝統的建造物群保存地区選定20周年記念 これまでの20年 これからの20年」



城下町篠山のこれまでの20年間の取り組みと、これからの展望について講演いただきました。これまでの地域の方々による町並み保存継承の取り組みを評価され、今後、町並みを継承していくためには、さまざまな課題に対応しながら、城下町篠山の町並みを使い続けることが大切であると話されました。

## パネルディスカッション 「文化あふれるこの町を世代を超えて守っていく！」



黒田龍二さん  
(文化審議会委員・神戸大学名誉教授)



才本謙二さん  
(町並み景観保全協力建築士)



定立義則さん  
(丹波篠山市商工同友会会長)



酒井悠芽さん  
(篠山鳳鳴高等学校)



西田悠珠さん  
(篠山鳳鳴高等学校)



川端登さん  
(篠山まちなみ保存会会長)

村上裕道さん進行のもと、6人のパネルがそれぞれの立場で意見を交換。これまで城下町篠山の重伝建地区選定に尽力されてきた経験などを生かして活発に討論が行われました。春日神社の祭礼や能などの古きよきものが残る城下町篠山。他では体験できないような、特別な体験ができる城下町であることに触れ、今では若い人もたくさん訪れる人気の地であると、城下町篠山の盛り上がり共有しました。

## 式典で篠山まちなみ保存会による表彰を受けた方

### 功労者表彰

- 小林一三さん(前篠山まちなみ保存会会長)
- 才本謙二さん(町並み景観保全協力建築士)

### 優良新築修景表彰

- 安達守さん/知子さん・寺本典代さん
- 藤原宗良さん・松田修さん

## パネル展示



篠山小学校児童の篠山伝建地区での取り組みなどの展示

## 文化庁の高橋成美文化財調査官より

「城跡、旧武家町、旧商家町が一体となって残っているところは、伝建地区の中でも篠山城下町オンリーワンの大変魅力的なところですよ」



### 今月のこんにちは市長室

市長が市政に対してのご意見やご要望をお聴きする場として開催しています。事前の申し込みは不要で、懇談会または1人15分程度の面談です。

とき 1月9日(木) 13:30~16:00  
ところ 中央図書館  
問い合わせ 秘書広報課 ☎552-5109

### ふるさといちばん

## 市長の **HOT** と一く

### 丹波篠山の時代をつくろう



# 温かい兵庫を取り戻し、 兵庫県政が前進しますように!!

私は、今年の4月から兵庫県市長会の会長を務めていることもあって、兵庫県との関係で意見表明をしました。

一、11月14日、私を含め県内の有志、22人の市長が稲村和美さんを支持する表明をしました。これについて、「市長の立場を守ろう」として、市民のことを考えていなかったのではないかと尋ねられました。しかし、全く逆なのです。

文書問題で県政が混乱し、選挙戦に入ってより混乱が広がり、これ以上の混乱をなくすには、新しい人による新しい県政を期待したものです。それは自分の立場を守ろうとしたのではなく、混乱を見るにつれ、黙っているだけでなく、名前を出してでも市長たちの考えを示すべきだと考えたのです。それが22人も集まりました。プラス・マイナスの効果も当然考えましたが、事実上反すること、人権侵害につながるなどそれほどの混

乱ぶりを目にしたからです。

二、11月26日、知事の再選後初の県と市町の懇談会がありました。私は市長会を代表して、次のとおりあいさつしました。

「県民の皆さんの、知事は齋藤さんがふさわしいという民意は大変尊重しなければいけないと思っています。ただし、知事には百条委員会や第三者委員会の審理も続いていますし、このたびの選挙でもいろいろな点が指摘されるなど、まだ混乱や停滞が続いてしまっているのではないかと、大変心配もしています」

「私たち県内の市町の多くは、兵庫県との連携なくしては、解決できないさまざまな課題を持っていきます。私の丹波篠山市で言えば、医療、県立高校の統合、農村をどう守るか。こういったことは知事のリーダーシップなくしては、解決ができません。本当に混乱が

続くと大変困ってしまうのです。ぜひとも、県政が前に進みますように、最善の努力をどうかよろしくお願いしたいと思っています」

「その上で私から2点、思いとお願いをさせていただきます。1つ目は、言論が保障され、人権が守られ、温かい心の兵庫を取り戻していただきたいということですが、事実と違うことではないかと思われることが流布されたり、また、人権・プライバシーに関わることも見受けられたり、大変憂うべき状況ではなかったかと思えます。県会議員の竹内さんが議員辞職をされました。議員活動に伴って誹謗中傷を受けて、議員が続けられなくなったと聞いています。このような話はこれまで聞いたことも無く、大変悲しく、遺憾であると思っています。」

「このままでは自由に発言をし、話し合いをし、結論を決めていくという民主主義、兵

庫県の民主主義が壊れてしまっているところですが、もう一つは、人口減少の時代において、子育てや教育など、若い世代への投資と農に関わる多様な担い手が、これからは農業や農地や農村社会を守るような具体策について、協議をさせていただきたいと願っています。」

以上のとおり、私の意思表明は、県政の混乱、停滞を収束してほしい、自由に発言でき議論してほしい、温かい兵庫を取り戻してほしい、それを願うものです。



## 第14代 丹波篠山観光大使募集

任期 4月1日~令和9年3月31日  
(年間10日程度の活動)

- ### 応募資格
- ・市内在住、在勤の18歳以上の男女(高校卒業予定者も可)
  - ・司会進行や接客に興味のある方
  - ・丹波篠山愛が強く、魅力を積極的にPRして下さる方
- ※任命前に研修があります。

### 選考方法

1次=書類選考  
2次=面接 2月15日(土)



### 募集人数

3人

### 応募期限

1月31日(金)  
※必着。



問い合わせ 一般社団法人 丹波篠山市観光協会 ☎506-1535

## 大学連携 でんしよばと

問い合わせ 神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎506-6628  
丹波篠山フィールドステーション ☎506-2366



### 3人の学生インターンが活躍しています!

学生インターン  
募集中!



あらがわゆうと  
**新川裕士さん**  
丹波篠山市出身  
神戸学院大学3年



中間支援を軸とした地域づくりを地元で学びたくてインターン活動を始めました。特に、「半学半域型」協力隊員募集広報活動は、人の生き方・市の未来に影響を与えるため、誇りに思っています!インターン経験から学んだ「人」を大切にしまちづくりにも、一人としても積極的に参画していきたいです。

すみりと  
**角凜人さん**  
熊本県熊本市出身  
神戸大学2年



自分の専門を超えて異なる分野で活躍する方々と関わりたいという思いから、インターン活動を始めました。「半学半域型」協力隊員募集広報活動では、多様なキャリアの人と接する中で、知見が広がるのを感じています!今後も彼らから多くを学びながら、将来の仕事に生かしていきたいと考えています。

やまとたかし  
**山戸隆志さん**  
大阪府大阪市出身  
桃山学院大学3年



大学のゼミ活動でイノベーションラボを見学して興味を持ちました。活動を通して、想像以上に地域の人との関わりが多いことに驚き、人脈をもとに地域の人事部としての役割を果たしているのだなと感じました。参加して日は浅いですが、これからさまざまな経験を吸収し、身に付けられるように頑張ります!

### キャリアセミナー「丹波篠山で叶える自分スタイル」を開催します!

丹波篠山で起業をめざす20代を交えた座談会です。詳細はInstagramをチェック!  
日時 1月5日(日) 13:30~15:30 場所 神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ



問い合わせ (一社)丹波篠山キャピタル ☎506-6628 ✉info@tscapital.jp